

新たな産地作り へのステップ

— 特色ある水田農業を確立するためのヒント —

本パンフレットは、関係者が創意工夫しつつ地域の特色ある水田農業を確立していくヒントとなる最新の研究成果をまとめています。



水稲乾田直播技術

省力性が高く低コストで、春作業の競合も減る技術を開発しました。代かきしないので畑地化しやすく、水田輪作にぴったりの直播技術です。

道内7地域70～130haに普及しています。



農林水産省農林水産技術会議事務局
農林水産省北海道農政事務所
独立行政法人農業技術研究機構

稲から小麦へ楽々→春播小麦の初冬まき技術を開発

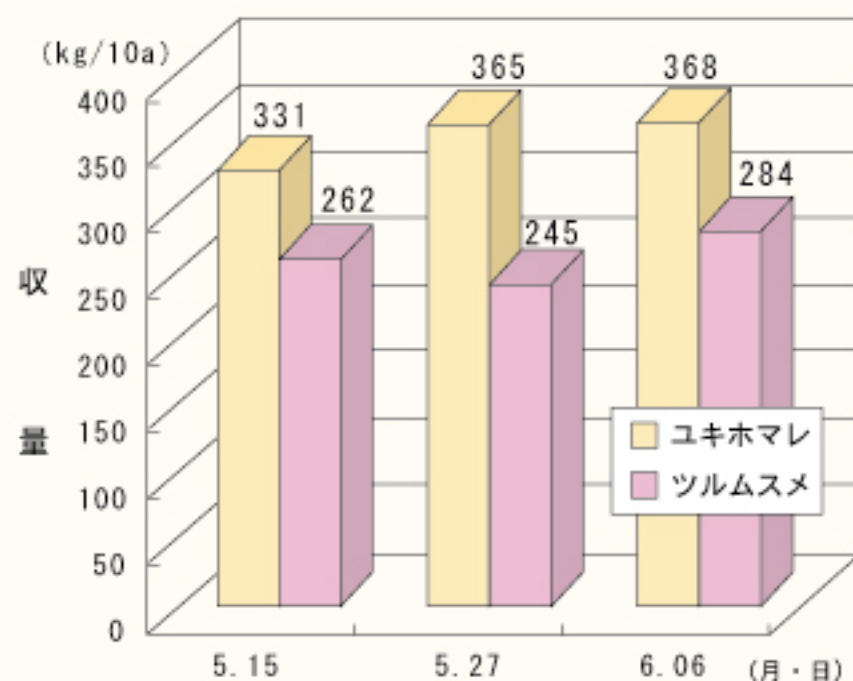
- ①需要の高いパン用の春播小麦の多収栽培を実現しました。
- ②初冬まきでは収穫時期が早まり、赤カビ病を大幅に減らすことができます。
- ③チゼルプラウシーダの活用により、根雪前でも楽に大面積の播種が可能になりました。
- ④積雪地帯の水田を中心に、700ha以上（平成13年）に普及しています。



栗山町、平成14年12月4日
チゼルプラウシーダによる播種作業

水田における高品質大豆の安定生産

- ①田植え作業が終わってから播種できる、大豆新品種「ユキホマレ」の遅まき栽培では、わい化病や黒カビ粒の発生も減少し、高品質の大豆生産が可能です。
- ②大豆播種とともに稲・麦にも汎用利用でき、耕うん・施肥・播種を同時にできる播種機（マルチシーダ）を開発しました。

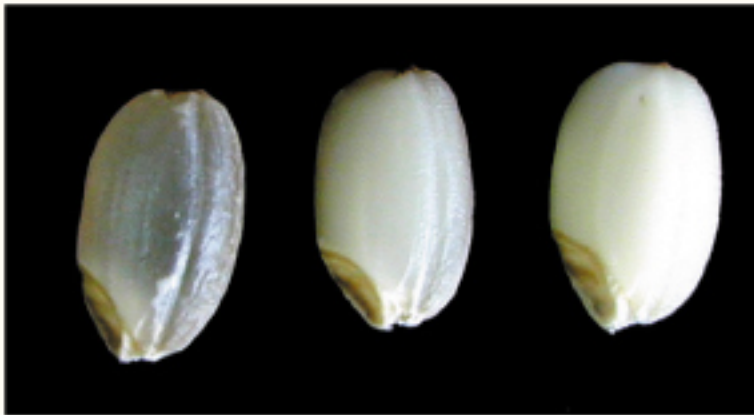


「ユキホマレ」の収量に及ぼす遅まきの効果
(平成14年)

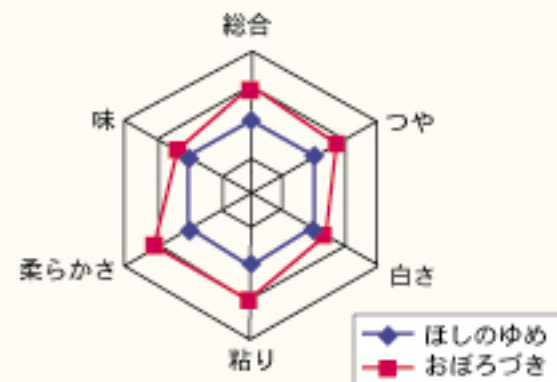
新たな需要開拓が可能な新形質米

普通のお米とは少し違った食感のお米が開発されています。

- ① 粘りが強く、直播栽培向きの低アミロース米「はなえまき」
粘りが少ない米にブレンドするとおいしくなります。直播栽培による生産が可能です。
- ② 程良い粘りで極良食味の低アミロース米「おぼろづき」
これまでの道産米にはなかった食味です。粘りすぎないので単品でおいしくいただけます。



左から「きらら397」、「はなえまき」、「はくちょうもち」
「はなえまき」は見かけも粘りもうるちともちの中間です。



食味試験の結果（北農研センター平12～13の平均）
「おぼろづき」は「ほしのゆめ」を上回るおいしさです。

パン用の秋まき小麦「キタノカオリ」

パンや中華麺に利用できる秋まき小麦が開発されました。

- ① 製パン適性が優れています。
- ② 赤さび病、うどんこ病抵抗性が優れています。
- ③ 耐倒伏性が優れています。



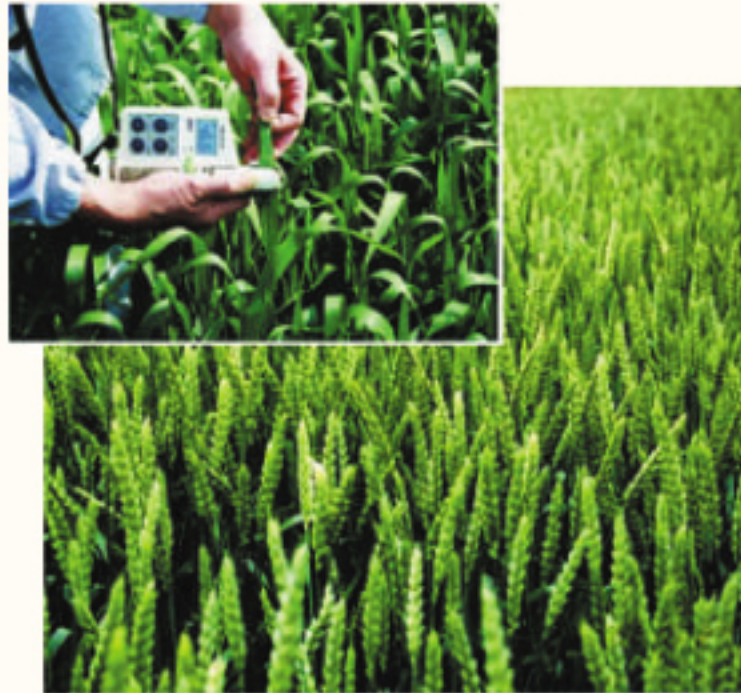
活用事例

道央部を中心に、パン用や中華麺用の需要に応じるために、積極的に普及に取り組まれています。全道で、平成19年には5,000haの普及が見込まれています。

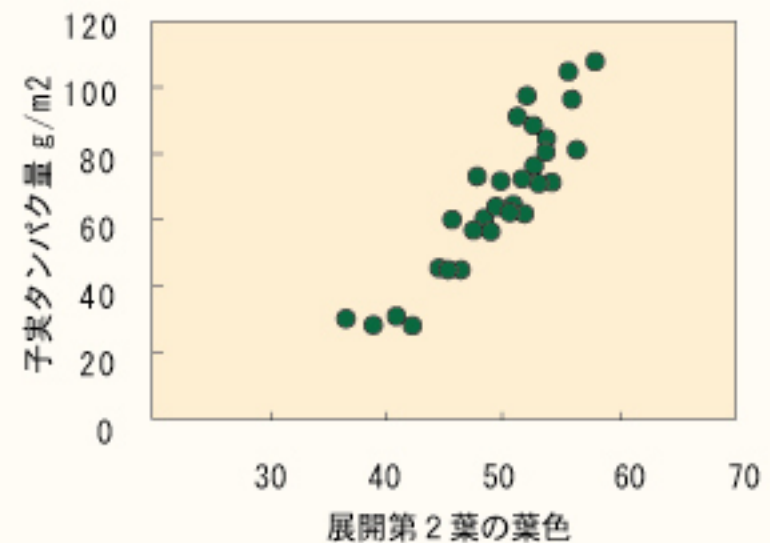
高タンパク小麦を安定的に生産するために

タンパク質含量が高く、品質の良いパン用小麦「キタノカオリ」を作るためには窒素の追肥が必要です。

しかし、過剰の窒素は土壤に蓄積し、環境負荷がかかることとなります。そこで、適正な窒素量を知るための葉色診断技術を開発しています。



「葉緑素計」による葉色診断



葉色と子実タンパク量との関係

この他にも、今後の特色ある水田農業確立のヒントとなる新技術はたくさんあります。

詳しくは、ホームページ <http://cryo.naro.affrc.go.jp/> を参照下さい。

問い合わせ先

独立行政法人農業技術研究機構北海道農業研究センター

〒062-8555 北海道札幌市豊平区羊ヶ丘1

電話 011 857 9258

Eメール [www.@cryo.affrc.go.jp](http://www.cryo.affrc.go.jp)

また、水田農業施策のお問い合わせは、

北海道農政事務所食糧部計画課生産調整係へ

電話 011 642 5470 (直通)